

令和元年度
酒田市交通安全事業の実施状況

令和元年度活動実績【道路交通安全についての対策】

柱	項目	施策の展開	担当課	主な事業概要・活動実績
【第1の柱】 交通安全思想の普及徹底	(1)段階的かつ体系的な交通安全教育の推進	幼児に対する交通安全教育	まちづくり推進課	・交通安全教室の実施（幼児参加延べ人数 5,910人）
		小学生に対する交通安全教育	まちづくり推進課	・交通安全教室の実施 交通安全専門指導員講師派遣分（小学生参加延べ人数1,772人） 交通指導員講師派遣分（小学生参加延べ人数1,487人）
			まちづくり推進課	・登校時の安全立哨指導 交通指導員 35人配置
			まちづくり推進課	・交通安全教室の実施 （中学生参加延べ人数27人、高校生参加延べ人数31人）
		中学生・高校生に対する交通安全教育	まちづくり推進課	・交通安全教室の実施 （中学生参加延べ人数27人、高校生参加延べ人数31人）
			飽海地区高等学校交通安全指導協議会	・各校一斉登校時街頭指導（年4回） ・薄暮時特別街頭指導（10月下旬から11月上旬） ・自転車安全点検と自転車保険加入の推進 自転車通学者のTSマーク加入率50.7%（981人/1,936人） ・バイク「三ない運動」の推進 ・自動車教習所への無許可入学と無許可免許取得の防止 ・交通安全体験学習会10/15 ・交通安全講話
			酒田警察署	自転車警告カード（イエローカード）による指導、講習会への参加要請 交付人数176人（前年比-596人）
		高齢者に対する交通安全教育	まちづくり推進課	・高齢者交通安全教室の実施（参加延べ人数 764人） ・かもしかクラブ祖父母参観（参加延べ人数 119人）
			まちづくり推進課	ハートフルメール事業の実施（県交通安全母の会連合会事業） 市内小学校14校の4年生512人が参加。高齢者に事故防止を呼びかける絵はがきを作成し、祖父母や地域の高齢者に送った。
			酒田警察署	参加・体験・実践型交通安全教育の実施 ・高齢歩行者教育システム歩行環境シミュレータ「わたりジョーズ君」を用いた歩行者教育の実施（9回、参加人数294人） ・交通安全ゆとり号による運転者教育の実施（12回、参加人数182人）
	酒田警察署ほか関係機関		自転車交通安全教室の実施 5/22シルバー・輪リン・スクール（参加者計16人）	
		障がい者に対する交通安全教育	まちづくり推進課	交通安全教室の実施（参加延べ人数 6団体、参加者236人）
		外国人に対する交通安全教育	まちづくり推進課	交通安全教室の実施（参加延べ人数 33人）
	(2)効果的な交通安全教育の推進	交通安全教育を推進するための指導者の育成	まちづくり推進課	・4/12かもしかクラブリーダー研修会（参加者15人） ・7/10庄内地方かもしかクラブリーダー研修会（参加者15人） ・8/9、2/18交通指導員研修会（参加者35人） ・各種交通安全専門指導員研修 8/30、1/30庄内地域交通安全専門指導員研修会、1/16～1/17交通安全教育指導者研修会、12/9チャイルドシート指導員養成研修会
		交通安全教育の推進	まちづくり推進課	交通安全教育用機材等の貸し出し 5件 <貸出物品> 飛び出し人形、紙芝居、指導員手作り教材各種

柱	項目	施策の展開	担当課	主な事業概要・活動実績
(3)交通安全に関する普及啓発活動の推進		関係機関・団体等と連携した交通安全活動の推進	各関係機関・団体と連携	・酒田警察署、各交通関係機関・団体との連携強化を図り、交通安全活動を推進した。 ・啓発活動時等に「スマートドライバー宣言もっけだの～五則」、「スマート歩行者プロジェクト」の周知徹底に努めた。
		交通安全運動の推進	まちづくり推進課	・日中広報街宣 年間173回、早朝広報街宣 年間34回 ・県民運動期間及び交通安全の日に街頭指導を計画的に実施した。 ・市民大会の実施 「安全と安心のまち酒田」市民大会 7/25 参加者800人 交通安全高齢者等市民大会 9/26 参加者350人
		普及啓発活動の効果的な展開	まちづくり推進課	・プラカード街頭指導（各関係機関と合同） 交通安全の日、公所長等一斉早朝街頭指導、緊急街頭指導等計23回 ・交通安全啓発活動（各関係機関と合同）17回、配布対象者1,388人 ・交通安全啓発活動（市単独実施）6回、配布対象者1,450人
				広報媒体の積極的活用 市広報、市ホームページ、防災無線（支所地域）、FMラジオを積極的に活用し、県民運動の周知や交通安全計画等の情報発信を行った。
		シートベルト全席着用及びチャイルドシートの正しい着用の徹底	まちづくり推進課	・チャイルドシート及びシートベルト啓発リーフレットの配布 母子健康手帳交付申請者及び転入者 668人 子育て支援センター等の保護者向け交通安全教室 379人 ・幼児保護者向けのおたよりの作成・配布（年5回発行）
			酒田地区交通安全協会	・チャイルドシート、ベビーシートレンタル事業 年間貸出回数115台
		薄暮時におけるヘッドライトの早め点灯・ハイビームの積極活用の促進	各関係機関・団体と連携	・市広報や、FMラジオを活用し広報啓発を行った。 ・関係機関・団体と一緒にプラカードによる街頭啓発活動を行った。
高速道路における効果的な啓発の充実	東日本高速道路(株) 各関係機関・団体と連携	・各関係機関と合同で、帰省客等高速道路利用ドライバーに対し交通安全啓発を行った。 8/8 夏の交通安全キャンペーン（酒田IC）		
(4)地域で守る交通弱者の交通安全対策の推進	地域で守る交通弱者の交通安全対策の推進	まちづくり推進課 酒田地区交通安全協会、酒田市交通安全母の会連絡協議会	・交通指導員35人を配置し、朝の登校時に児童、生徒をはじめとする市民の通行の安全指導を行った。 ・高齢者等の家庭を訪問し、交通事故防止や各種犯罪被害防止を呼びかけ、夜光反射材を配布してその活用を指導することで、交通安全意識の啓発を図った。 【年間家庭訪問数】 酒田地区交通安全協会 23,596世帯 酒田交通安全母の会 173世帯 松山交通安全母の会 536世帯	
(5)飲酒運転の撲滅	飲酒運転の撲滅	各関係機関・団体と連携	交通安全教室などあらゆる機会を通じて啓発活動を実施。	
(6)自転車の安全利用の推進	自転車の安全利用の推進	まちづくり推進課	・TSマーク加入促進 ・ヘルメット着用推進 ・市内の中学1年生（901部）及び高校1年生（1,040部）を対象に自転車安全利用リーフレットを配付した。（配布数計 1,941部）	
	薄暮時の早め点灯等の推進	まちづくり推進課	・自転車の早め点灯の周知徹底 ・市内中学校1年生を対象に自転車用反射材を配布（配付数820個）	

柱	項目	施策の展開	担当課	主な事業概要・活動実績
【第2の柱】 高齢者運転対策 の充実	高齢者運転対策 の充実	高齢運転者標識 (高齢者マーク)の周知	まちづくり 推進課	交通安全教室で行う講話や寸劇でテーマとして取り入れるなどして周知を図った。
		効果的な交通安全 教室の実施	まちづくり 推進課	市内の交通事故発生状況や事故事案の解説と、寸劇や軽体操などを組み合わせ、わかりやすい交通安全教育を実施に努めた。
		運転免許証自主 返納制度の周知	まちづくり 推進課	自主返納手続きや酒田市の自主返納支援制度について、市広報やFMラジオ、交通安全教室等の周知に努めた。
【第3の柱】 道路交通環境の 整備	幹線道路にお ける交通事故 防止対策	幹線道路にお ける交通事故防止 対策	土木課	市道：実績なし
	生活道路等にお ける安全・安 心な歩行空 間の整備	安全な歩行空 間、ひとにやさ しい標識等の整 備	土木課	・道路標示や道路標識等の整備補修の推進
		通学路等の整備	学校教育課 他関係機関	・通学路危険箇所点検 各小中学校から提出された意見・要望について、各関係機関で意見を交 わし、合同で現地調査を実施し交通安全の推進を図った。 合同点検事前対策検討 11/18 16校45か所 危険箇所合同点検 3校3か所 11/25 松山小(1か所)、若浜小(1か所)、宮野浦小(1か所)
	歩行者・自転 車対策及び生 活道路対策の 推進	歩行者・自転車 対策及び生活道 路対策の推進	土木課	・未就学児が日常的に集団で移動する経路の安全確認 各保育所等から提出された危険箇所について、各関係機関で意見を交わ し、合同で現地調査を実施し交通安全の推進を図った。 合同点検事前対策検討(警察、市) 9/6 19施設、68か所 危険箇所合同点検 6施設10か所 9/26 浜中保育園(1か所)、宮野浦保育園(1か所)、にこっと広 場(1か所) 9/27 松山保育園(3か所)、八幡保育園(3か所)、若浜保育園 (1か所)
				・道路パトロールにより交通安全上危険箇所は速やかに補修整備を実施。 ・冬期間の円滑な道路交通の確保 除雪指定路線延長834.7km(市が管理する道路の85.5%)
	地域住民等と 一体となった 道路交通環境 の整備	地域住民等と一 体となった道路 交通環境の整備	土木課	市道：実績なし
	高速道路にお ける事故防止 対策の推進	高速道路にお ける事故防止対策 の推進	東日本高速 道路(株)	・交通安全施設の維持を図るとともに、各種点検等の作業を実施し異常事 態の発生の未然防止に努めた。
円滑・快適で 安全な道路交 通環境の整備	道路の使用及び 占用の適正化等	土木課	・道路占用許可の適正な運用と占用物件等の維持管理の適正化を指導。 ・道路交通の妨害となる不法占用物件等については是正指導を実施した。	
	自転車等駐車対 策の推進	まちづくり 推進課	・駅周辺自転車駐輪場における放置自転車の撤去(年2回) 10/1 34台、3/25 45台 ・飽海地区高等学校交通安全指導協議会の協力を得て、生徒に対し、卒業 前の持ち帰りを指導し、秩序ある利用の促進を図った。	

柱	項目	施策の展開	担当課	主な事業概要・活動実績
	公共交通体系の整備・利用促進	公共交通体系の整備・利用促進	都市デザイン課	・利便性の高い公共交通体系を整備し、路線バスやタクシーを含めた公共交通機関の利用促進を図った。
	総合的な駐車対策の推進	総合的な駐車対策の推進	まちづくり推進課	・交通安全関係団体等の協力を得て、違法駐車排除の広報啓発活動を展開した。
	災害に備えた道路の整備	災害に備えた道路の整備	土木課	市道：実績なし
		災害に強い交通安全施設等の整備	土木課	交通安全施設の整備及び交通規制を実施するための交通規制資機材の確保
	交通安全に寄与する道路交通環境の整備	道路法に基づく通行の禁止又は制限	土木課	災害が発生した場合でも安全な道路交通の確保を図った。
		子どもの遊び場等の確保	整備課	専門業者による、遊具の定期点検と更新、改修を実施した。
【第4の柱】 救助・救急活動の充実	救助・救急業務体制の整備	救助体制の整備・拡充	酒田地区広域行政組合	人命救助のために必要な救助装備の充実を図り、併せて、救助隊員を含めた消防隊員の救助技術のレベルアップを図った。
		救助・集団救急事故体制の整備	酒田地区広域行政組合	消防機関における広域応援体制の充実を図り、DMAT（災害医療チーム）との救護訓練の実施により、集団救助及び救急事故体制の連携強化に努めた。
		心肺蘇生法等の応急手当の普及啓発活動の推進	酒田地区広域行政組合健康課	・市民を対象としたAED（自動体外式除細動器）の操作方法を含めた心肺蘇生法に関する講習会を開催し、応急手当の普及啓発を行った。 ・公共施設等へのAED設置の推進を図った。 R元年度AED設置状況 酒田市内235か所、287台
		救急救命士の養成・配置等の促進	酒田地区広域行政組合	救急救命士を計画的に配置できるよう早期養成を図るとともに、救急救命士の行う応急処置を円滑に実施するための講習及び実習を積極的に行った。 また、救急救命士が行う応急処置等の質を確保するためメディカルコントロール体制の下に教育・訓練の充実を図った。
		救助・救急体制の整備の推進	酒田地区広域行政組合	各署に高規格救急自動車を配備し、併せて全車に除細動器等を配置して、傷病者に対する迅速な処置と適切な搬送を行った。
		消防防災ヘリ及びドクターヘリによる救急業務の推進	酒田地区広域行政組合	災害の状況に応じて、消防防災ヘリ及びドクターヘリの積極的な活用を行った。
		救助隊員及び救急隊員の教育訓練の充実	酒田地区広域行政組合	消防学校、地区メディカルコントロール関係医療機関の協力により、救助及び救急隊員に対する災害現場での連携訓練と教養を行った。
		高速道路における救急業務実施体制の整備	酒田地区広域行政組合	高速道で発生した災害に対して、東日本高速道路株式会社との情報共有を図り、関係機関による実地訓練を実施した。
		救急関係機関の協力関係の確保等	救急関係機関の協力関係の確保等	酒田地区広域行政組合

柱	項目	施策の展開	担当課	主な事業概要・活動実績
【第5の柱】 交通事故被害者 等支援の推進	交通事故相談 活動の推進	交通事故相談活 動の推進	まちづくり 推進課	交通事故による被害者やその家族に対し、交通事故相談活動の周知を図り、広く相談の機会の提供に努めた。
	交通事故被害 者対策の充実	交通遺児等に対 する援助	まちづくり 推進課	山形県交通安全母の会連合会の交通遺児奨励金等の情報提供に努めた。 対象交通遺児9人 R元年度 交付対象者 勉学等奨励金8人、卒業祝金3人、入学祝金2人
		交通災害共済制 度の活用	まちづくり 推進課	交通災害共済制度は平成30年度（平成31年3月31日）で廃止となった。平成30年度中に事故にあわれ診断された会員に対し見舞金の給付を行った。（事故発生日から1年以内が給付対象）
【第6の柱】 交通事故分析・ 安全対策の充実	交通事故多発 箇所の共同現 場点検	交通事故多発箇 所の共同現場点 検	各関係機 関・団体と 連携	R元年度実績なし
	交通死亡事故 等重大事故発 生に伴う緊急 現場点検	交通死亡事故等 重大事故発生に 伴う緊急現場点 検	酒田警察署 ほか関係機 関	交通死亡事故現場点検 1/15法連寺地内、3/19あきほ町地内

令和元年度活動実績【踏切道における交通の安全についての対策】

柱	項目	施策の展開	担当課	主な事業概要・活動実績
【第1の柱】 交通安全思想の 普及徹底	踏切道の構造 の改良の促進	踏切道保安設備 の整備の実施	土木課 酒田保線技 術センター	踏切保安設備等の整備の推進を図る。
	踏切保安設備 の整備の実施			冬期間における踏切道付近の除雪については、道路管理者と関係機関の連携を密にして通行の安全確保を図る。
	その他踏切道 の交通の安全 と円滑化を図 るための措置	踏切道の交通の 安全と円滑化を 図るための措置	酒田保線技 術センター	<ul style="list-style-type: none"> ・5/14春の交通安全運動の一環として観音寺街道踏切において踏切事故防止啓蒙活動を実施した。 ・9/24秋の交通安全運動の一環として、第一元泉踏切において踏切事故防止啓蒙活動を実施した。